

笑顔あふれるデイサービスセンター

島田市立島田第五小学校

五年 梅原 里宮

私は今年の夏休みに、市内のデイサービスセンターに行き、介護のお仕事体験のボランティアをしました。なぜ介護のお仕事に興味を持ったのかというと、私は将来看護師や福祉のお仕事をしたいと思っています。私は人助けをしたり、いつも周りのみんなに笑顔になってもらいたいと思っています。な

ので今回介護のお仕事体験ができると知って、とてもワクワクしました。おじいちゃんやおばあちゃんには、元気に楽しく過ごしてもらえ、えるように頑張りたいと思いました。そのため、「ふくし」について調べることにしました。「ふくしは、」
「あわせに、」という意味があることを初めて知りました。誰もがみんな幸せに、思いやりを持って、支え合って生きていくということができます。とても身近なものだと感

じました。朝の十時からお仕事体験スタート
 です。私は緊張して、ドキドキしていました。
 まず最初に、おじいちゃんとおばあちゃんに
 自己紹介をしました。緊張している私に
 「今日一日よろしくね。」
 と話しかけて、温かく迎えてくれました。私
 はいつの間にか緊張がほぐれて、嬉しい気持
 ちでいっぱいになりました。午前中はラジオ
 体そりをしました。おじいちゃんやおばあち
 さんは少し見づらそうにしていたので、とな
 りで一緒にラジオ体そりをやりました。
 「教えてくれてありがとう。」
 と言って、ここにここと笑顔になっ
 てくれたの
 で、私までつい笑顔になっ
 てしまいました。
 ラジオ体そりが終わり、次は工作の時間です。
 この日は、部屋にかざるための輪かざりを、
 おり紙で作りました。すると近くにいたおば
 あちゃんがかっこよかったおり紙を、たてにな
 らべていることに気が付きました。私は、あ
 れ？おばあちゃんもしかしたか、かんちがい

をしているのかな? と思い、声をかけました。
 一緒に作っていくうちに、手ぎわがよくなり、
 輪かざりはどんどん長くなっ、ていきました。
 そして、カラフルな輪かざりが完成した時に
 は、私もおばあちゃんも大喜びをしました。
 お昼になり、ご飯を食べる前に口を動かす
 体そうをしました。これは「えんげ体そう」
 というものです。えんげ体そうとは、食事の
 前の準備体そうのことです。口の周りの動き
 をよくして、飲み込みをしやすくするため

運動です。

「パングはじらじら はひびやぼ」
 「たぬきはたうんだ たちつてと」
 みんなで声をそろえて言いました。おじいちゃん
 やおばあちゃんは、大きな声で上手にえんげ体そ
 うをしていました。私はえんげ体そ
 うは初めてなので、少しむずかかったです。
 えんげ体そうが終わり、お昼ご飯の時間です。
 おじいちゃんとおばあちゃんにお茶とランチ
 コマツトと食事を配りました。食事を配る

「どこの学校から来たの？」
 「何年生？」
 などと話しかけてくれました。初めて会う私
 に
 「かわいいね。」
 と言った、かわいかってくれるおじいちゃん
 やおばあちゃんもいました。話を聞いていく
 うちに、明るい表情とやさしい言葉がたく
 さんの温かさが伝わってきました。みんなが
 食べるご飯は、とてもおいしかったです。

時には一人ずつ
 「〇〇さん。」
 と名前をよんで配りました。よく見ると、ご
 飯の量がちがったり、おかずの具材が少なか
 ったりします。これは、その人に合った量や
 健康に、うたいを考えて、管理栄養士さんが
 作ってくれているからです。デイサービス
 ンターの食事は、とてもよく考えられている
 ことを知りました。一緒にご飯を食べている
 と

楽しい時間はあっという間です。介護のお仕事体験をしてみても、気が付くと元気とパワーをもらって、笑顔になっていたのは、私の方でした。おじいちゃんとおばあちゃんは「ありがとう。また来てね。」と言っていて、大きなはく手と笑顔で見送ってくれました。私は、幸せな気持ちになりました。笑顔のあふれるこのデイサービスセンターが大好きになりました。私は勉強をし、かりやあって、将来の夢をかえたいと思いました。